

その他の諸活動

1. 研究助成

(1) 2013年度科学研究費補助金

氏名(所属・職)	研究課題名	補助額 (直接経費)
基盤研究 (A)		
加藤 雅信 (法学部教授)	日本民法典財産法・担保法編の改正	6,300千円 (分担金含む)

(2) 2013年度学術研究助成基金助成金

氏名(所属・職)	研究課題名	補助額 (直接経費)
基盤研究 (C)		
肥田 朋子 (リハビリテーション学部教授)	関節不動化によって生じる筋性疼痛のメカニズムの解析と疼痛発生の予防	1,000千円 (分担金含む)
増田 喜治 (リハビリテーション学部教授)	人工内耳装用児者の英語教育：映像、音声、振動を用いた遠隔授業と国際交流	600千円
上山 仁恵 (経済学部准教授)	中古住宅市場の発達度や規模から生じる住宅の非流動性が遺産動機に与える影響について	1,100千円
齋藤 健治 (スポーツ健康学部准教授)	肢体不自由児の生活・学習活動の改善に資する視線活動分析	3,300千円
中野 貴博 (スポーツ健康学部准教授)	幼少期に獲得すべき生活習慣・身体能力・精神発達の相互関連性と縦断的变化	2,200千円
柳 善和 (外国語学部教授)	小・中学校を通じた英語教育における流暢性に関わる言語能力養成のシラバス開発	1,900千円 (分担金含む)
新多 了 (外国語学部准教授)	タスク前計画時間が留学前・後学習者の会話構築パタンに与える影響	1,500千円
榎澤 幸広 (経済学部任期制講師)	被告人の言語使用に対する各裁判所の訴訟指揮権行使の理由・範囲	700千円
伊藤 昭浩 (商学部准教授)	情報通信技術による流通フローの変化	1,900千円
若手研究 (B)		
渡邊 晶規 (リハビリテーション学部講師)	実験動物ラットを用いた関節拘縮の病態解明とその治療に関する研究	500千円

その他の諸活動

菅原 晃樹 (経済学部准教授)	児童労働に対する効率賃金仮説：経済発展への影響とシミュレーションを用いた政策分析	400千円
三輪 冠奈 (商学部准教授)	小売店を対象としたインスタ・マーチャングの定量的な効果検証に関する研究	600千円
佐伯 靖雄 (商学部講師)	次世代燃料車の市場興隆期における自動車産業の企業間取引関係	100千円
伊東 佑太 (リハビリテーション学部助教)	筋線維核数の変化に着目した萎縮筋に対する筋力増強運動効果の検証	1,200千円
玉越 敬悟 (リハビリテーション学部任期制助手)	脳出血後のスキルトレーニングによる運動機能改善メカニズムの解明	1,200千円
城 由起子 (リハビリテーション学部講師)	慢性痛における中枢性疼痛抑制系の変調を運動による鎮痛機序を指標に検証する	2,500千円
佐藤 菜穂子 (リハビリテーション学部助教)	ヒップホップダンスにおける審査員の評価に影響を与える動作特性	2,000千円
川越 めぐみ (商学部講師)	方言オノマトペの意味特徴と地理的分布との関連性についての調査研究	500千円
市川 新剛 (外国語学部講師)	バイリテラシー発達におけるインプットとメタ言語意識の役割	800千円
濱 満久 (商学部准教授)	商業集積の維持・衰退メカニズムに関する研究	800千円

(3) 受託研究

氏名(所属・職)	研究課題名	補助額
九州大学受託研究		
佐々木 健吾 (経済学部准教授)	平成25年度環境経済の政策研究委託業務(政策展開・評価型の持続的発展指標開発とそれに必要な統計情報の強化に関する研究) 「政策展開・評価型の持続的発展指標開発とそれに必要な統計情報の強化に関する研究(4)」	2,000千円 (間接経費 53,025円を含む)

(4) その他

〔個人〕

- ・(財)シキシマ学術・文化振興財団(研究助成) 500千円

吉田 達矢(経済学部任期制講師)

研究テーマ「戦前期の名古屋市におけるイスラーム教徒に関する研究：タタール人コミュニティの動向を中心として」

(5) 2013年度 名古屋学院大学研究奨励金

【経済学部】 1,160千円

氏名	研究課題	補助額
川村 隆子	児童福祉施設における特別養子縁組の実態調査	200千円
上山 仁恵	住宅ローン繰上げ返済行動の決定要因分析	200千円
安藤 りか	「キャリア教育における自己実現志向」と「アイデンティティ発達」の関係の研究	200千円
飯島 滋明	国際社会における平和構築に関わる法理論の研究	200千円
笠井 雅直	温泉地間競争と地域開発 ―戦間期大衆消費をめぐって―	200千円
早川 厚一	『平家物語』の研究	160千円

【商学部】 870千円

氏名	研究課題	補助額
高木 直人	就職し、3年以内に退職した事例の報告 ―職場の人間関係問題を中心に―	220千円
山口 翔	ICTを活用したアクセシビリティ向上の研究	220千円
程 鵬	ビッグデータの活用法の開発	220千円
皆川 芳輝	新製品開発に有用な管理会計システムの構築	210千円

【法学部】 385千円

氏名	研究課題	補助額
遠藤 賢治 (加藤雅信・大原寛史)	債権法改正の裁判実務に与える影響	300千円
國井 義郎	損失補償契約と第3セクター破綻処理―民事保証契約との比較と債権法改正論議を踏まえた考察を中心として―	85千円

【外国語学部】 810千円

氏名	研究課題	補助額
人見 泰弘	ビルマ系難民の経済的統合に関する研究	210千円
市川 新剛	外国語教育における指導と評価の統合に関する研究	200千円
PD. マグラス	Minority Writers of Thai Young Adult Fiction	200千円
赤楚 治之	On Feature-Inheritance in Japanese	200千円

【スポーツ健康学部】 540千円

氏名	研究課題	補助額
松田 克彦	大学生におけるクロストレーニングの有効性について	270千円
早坂 一成	大学体育におけるラグビーの効果的な授業展開に関する一考察	270千円

その他の諸活動

【リハビリテーション学部】

510千円

氏名	研究課題	補助額
加藤 文之	脳卒中後の麻痺側における骨粗鬆症の病態メカニズムの解明	300千円
平野 孝行	認知機能が低下した患者の疼痛評価に関する研究	210千円

2. 渡航費補助を受けた国際学会発表

(1) 金 愛慶	Attitude toward the Own Nation and Multiculturalism in Japan and South Korea (American Psychological Association 121st Annual Convention), 2013.07.31-08.04
(2) 赤楚 治之	On the Subject Position of Unaccusatives in Japanese: the Kageyama-Kishimoto Puzzle (9th Workshop on Altaic Formal Linguistics (WAFL9)), 2013.08.23-25
(3) 渡邊 晶規	THE EFFECT OF ROM EXERCISE ON PREVENTION OF ROM LIMITATION AND HISTOPATHOLOGICAL CHANGES IN RAT. (WCPT-AWP&ACPT Congress2013), 2013.09.05-09
(4) 沖村 多賀典	A study of the central-local relations of sport public finance in Japan (55 th ICHPER・SD Anniversary World Congress), 2013.12.19-21
(5) W.J. ハロフスキー	Good vibrations. kukai and his 1200year-old philosophy of language and sound symbolism (Towards a History of Sound-Symbolic Theories), 2014.02.20-21

3. 研 修

長 期	柳 善和 2013年9月1日～2014年8月31日 〔イギリス：University of Warwick〕 研究テーマ「外国語学習におけるICT機器の利用とその役割の広がりについて」
中 期	姜 喜永 2013年4月1日～2013年9月28日 〔アメリカ：Georgia State University〕 研究テーマ「株価指数先物の価格効率性」
短 期	今村 薫 2013年7月1日～2013年9月28日 〔ボツワナ：University of Botswana〕 研究テーマ「ボツワナ僻地における教育問題に関する人類学的研究」

4. 学生奨励

学生論文コンクール…第32回（2013年度）の応募者は、33名（11組）であった。

入選	高氏沙佑里(15 C 0120)・蛭川貴大 (15 C 1106) 加藤安香里(15 C 0060)	「ヤマト運輸によるコンビニエンス ストア提携の動機づけに関する研究 ～宅配便サービスの実態を中心に～」
	安藤訓子 (14 E 0019)	「消え行く動物園～動物園の未来～」
	渡辺翔太 (14 C 0261)・岡井佑斗 (14 C 0052) 兼松裕太 (14 C 0076)・古瀬ちひろ(14 C 0210) 増田仁美 (14 C 0219)	「フリーペーパーの中小企業活性化 ～REALを事例に～」
	橋爪 海 (15 C 0170)・棚瀬竜司 (15 C 0135) 本田智也 (15 C 1113)・前出眞杜 (15 C 1116)	「ICT活用による学生生活型の魅力あ る地域づくり ～名古屋市熱田区における3つの区政 運営から見たまちづくりの事例報告～」
佳作	加藤雄介 (14 E 0103)	「中古のカードゲーム市場 ～その特異性とあるべき姿～」
	池田紗也 (15 C 0011)・木口屋梓帆(15 C 1040) 西口沙希 (15 C 1090)	「自動車販売店のチャネル戦略に関す る研究 ～国内大手自動車販売の各社戦略と展 望～」
	齋藤裕介 (15 C 0136)・澤村慎吾 (15 C 1054) 森野幸人 (15 C 0226)	「日本海運業の直面する試練 ～日本三大海運大競争時代 復活への ロードマップ～」
	竹村直洋 (15 C 0130)・岡元理紗 (15 C 0040) 曾我夏実 (15 C 0119)	「日本住宅の適正価格実現に関する研究 ～アキュラホームと積水ハウスの比較 による～」
	鈴木菜奈美(15 C 0114)・中村文乃 (15 C 0151) 内山絵理 (15 C 0028)・土肥亜里紗(15 C 1083)	「世界で評価される企業 ～新たな道 インテリア・雑貨業界～」
	安藤健太 (14 E 0018)	「国家安全保障～日本版NSCより～」
	稲垣亮児 (15 E 0038)・管 良龍 (15 E 0186) 瀨崎 優 (15 E 0269)・安井雅斗 (15 E 0341) 横地克彦 (15 E 0367)	「TPPについて考えた ～世界史に学ぶ～」

5. 紀要等発行

(1) 名古屋学院大学論集

- ①社会科学篇 50巻1号(2013/07), 50巻2号(2013/10),
50巻3号(2014/01), 50巻4号(2014/03)
- ②人文・自然科学篇 50巻1号(2013/07),
50巻2号(2014/01)〈梅本和泰教授退職記念号〉
- ③言語・文化篇 25巻1号(2013/10)〈石川輝海教授退職記念号〉,
25巻2号(2014/03)
- ④医学・健康科学・スポーツ科学篇 2巻1号(2013/10), 2巻2号(2014/03)

(2) 研究年報 26号(2013/12)

(3) ディスカッションペーパー

- No. 96 「Human Capital and FDI: Development Process of the Developing Country in an Overlapping Generations Model」 Tadashi Morita, Kouki Sugawara (2013/05)
- No. 97 「Estimation of the Kaleckian Investment Function in Japanese Manufacturing」 Taro Abe (2013/09)
- No. 98 「グローバル経営下の企業城下町にみる再生への創意的試み
—ひたち地域のものづくりへの視座—」
サステイナブル産業・地域研究会(5)(2013/12)
- No. 99 「ICTを利用した大学での英語授業:CALLラボ教室での実践」柳 善和(2014/01)
- No. 100 「東日本大震災発災における行政機能と犠牲者対応について
～陸前高田市, 釜石市, 大船渡市へのヒアリングから～」
震災関連死研究会調査報告書(2014/02)
- No. 101 「トランザクションバンキングの問題点およびリレーションシップバンキングの
有意性についての一考察」秋山 太郎(2014/03)

6. 学会開催

- ・総合人間学会 第8回研究大会
2013年6月8日(土)～9日(日) 名古屋キャンパス・白鳥学舎
- ・教育システム情報学会 2013年度第6回研究会・特集論文研究会
2014年3月15日(土) 名古屋キャンパス・白鳥学舎